

ぶんか

西東三鬼賞が決定しました

今年で第11回を迎えた西東三鬼賞ですが、今回は全国から941組、2,823句の応募がありました。この選考会が2月16日、鈴木六林男、和田悟朗の選考委員により行なわれ、大賞・西東三鬼賞1句と秀逸10句が次のとおり決定しました。(敬称略)

大賞 西東三鬼賞

プラトンの国を目指せり^{あり}蟻の道
次井 義泰(大阪府)

秀逸

鮫鱈^{あひこ}のうつらうつらと捌^{さば}かる
山村美恵子(福岡県)

たくさんの声が聞こえて来る八月
篠崎 す枝(茨城県)

羽抜鶏ついてゆくのも羽抜鶏
山本 賜(東京都)

夏木立ことばは一つの出口である
赤司 六哉(福岡県)

隠れん坊してみて九月ずっと鬼
菊川 俊朗(神奈川県)

鶴二百三百五百戦争へ
曾根 毅(奈良県)

動かざるとき鼻^{はな}は発条^{はつじょう}を巻く
瀬尾 冬樹(北海道)

桐一葉思ふ処に落ちぬもの
平尾 徹美(大阪府)

創造の原点におく八つ頭
森 壽賀子(埼玉県)

夕桜ここより家族はじまりぬ
高橋 修宏(富山県)

このほか佳作30句が選出されました。津山市からは、永禮宣子さん(志戸部)の句が佳作に選ばれました。



また、関連行事として以下の催しがありますので、みなさん、どうぞ参加してください。

西東三鬼墓前献句祭

4月1日の三鬼忌にちなんで行われます。

と き 4月3日(土)午前10時~
と ころ 成道寺(西寺町)

西東三鬼賞表彰式

と き 4月9日(金)午後4時~
と ころ 津山文化センター

曲水の宴俳句会

衆楽園の水路に大杯を浮かべてその場で詠んだ句を投じます。桜の咲く衆楽園での曲水の宴は、時を忘れさせてくれる「みやび」なひとときです。

と き 4月10日(土)午前9時30分~
と ころ 衆楽園

選 者 鈴木六林男、
和田悟朗ほか
参加費 1,000円(予定)
=句せん代



西東三鬼賞について

新興俳句の旗手と呼ばれた西東三鬼(1900~1962)は、市内南新座出身で現代俳句に大きな足跡を記しました。代表句「水枕ガバリと寒い海がある」。

西東三鬼賞は、三鬼を顕彰するとともに三鬼俳句の精神を継ぐ新しい感覚の俳句文芸の振興をめざして、全国から作品を募集しています。

西東三鬼賞についてのお問い合わせは、市教委文化課☎32 2121へどうぞ。

文化展示ホール ☎31-2525

津山さくらまつり協賛

嵯峨御流鶴山司所いけ花習作展

みまさか写真展

日本写真会津山支部展第37回展

第19回桂林堂教室書道・水墨画展覧会

全日本写真連盟津山支部展

4月3日(土)・4日(日)

4月9日(金)~12日(月)

4月15日(木)~19日(月)

4月23日(金)~25日(日)

4月30日(金)~5月3日(祝)